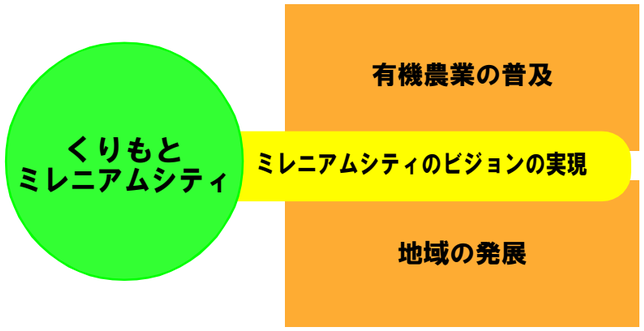
くりもとミレニアムシティ事業計画

くりもとミレニアムシティは、ミレニアムシティのめざすビジョンの実現を通して、地元での推進役の佐藤文彦理事や地主の大松秀雄さんが求める有機農業の普及、さらには栗源町の発展に寄与することができる施設となることをめざしています。

それを具現化するために次の事業計画書を作成しました。

この中で学校プロジェクトは具体的に活動を始め、また、宿泊セミナーハウスや農業研修プログラムもワークショップを行いながら試行をしています。



くりもとミレニアムシティ事業計画

～くりもとアグロポリスをめざして～

この事業計画案は、くりもとミレニアムシティの施設を活用して新たな事業を創設し、「農」を中心とした新しい社会と人をつくることを目的としています。この新しい事業を「くりもとアグロポリス」と名づけます

１．育成事業

農や食、さらには自然環境、地球環境、人のつながりまで含めた広い視野を持った人材を育成します。その中で農業に軸足をおいた実例として、旭愛農生産組合、くりもと地球村との共同事業を展開します。

A．　宿泊セミナーハウス

くりもとミレニアムシティの施設を、不足している宿泊セミナーハウスとして利用しながら、その立地を活かし、有機農業を体験し、自然に触れる場として提供します。幅広い企画セミナー、エコツーリズム、子供たちの体験教室、施設の自力建設への参加、農業体験などを提供します。

B．　農業研修プログラム

くりもと地球村の協力をいただきながら、農業を学びたい人々を対象に有料の研修プログラムを提供します。農業を学ぶというのは現状では様々な障壁があり、簡単に取り組むことができません。そこで、次のようないくつかの段階のプログラムをつくり、より気軽に取り組め、そして希望によってはプロをめざすことも可能なプログラムとします。

C．　学校プロジェクト

今の学校教育では実現できない、全人格的教育をめざした学校の開設をめざします。構造改革特区の活用などにより、これまでにない組織や施設とし、全国から参加者を募集します。

２．ブランド化事業

くりもとミレニアムシティを通じて、「農」のブランド化を図ります。

今、地球的規模で環境や人のつながりなどの問題が噴出していますが、その解決策として「農」が活かされるべきだと考えます。しかし一方で「農」には、汚い、きついといったマイナスイメージがあり、若者や女性などから敬遠される要因ともなっています。

そのような「農」に対するイメージを一新するのがブランド化です。「おしゃれな農業」と言える事業を展開し、メディアへのアピールなども行いながら、「農」に対するイメージを変え、より多くの人が「農」に積極的に係わることができる環境づくりを行います。

○都市＝森林＝農地……相反すると思われていた3つを共存させる施設のＰＲと普及。それにより固定化された概念を払拭し、地球環境を蘇生させる、新たな居住空間・仕事場を創出します。

○文化性・芸術性……文化性、芸術性のある施設を建設し、文化度を向上させます。文化のあるところには人が集い、新たな文化の萌芽となることが期待されます。

○おしゃれなデザイン……建築から家具、備品、ファッション、雑貨までセンスあふれるおしゃれなデザインとし、それ自体が話題を提供すると共に、人々を引きつけます。

○ブランド農産物……すでにくりもと地球村、旭愛農生産組合では行われていますが、都会と農村を結ぶ農産物がブランドとなります。このブランド化をさらに推し進め、より多くのブランド品を生み出します。

○達人……大松さん、佐藤さんをはじめとして、くりもとミレニアムシティに係わる人が「達人」としてブランドになります。達人は多くの人を引きつけます。

３．つながりづくり事業

20世紀以降ますます失われつつある人のつながりを回復させるために、くりもとミレニアムシティの施設を活用します。近所の方々、都会と農村の人々、外国の人、子供や高齢者の方々も。地球規模の人のつながりづくりから21 世紀型のコミュニティまでさまざまなつながりを創ります。

○地球料理レストラン……人と人をつなぐ地球料理を創作し、提供するレストランを創ります。地球料理とは各国の食文化に敬意を払い、また食材を生産する方々にも敬意を払いながら、作り、いただく料理です。
地球料理レストランは、当面は数人の調理師が交代で営業するレストランとなり、宿泊者へのサービスを業務の柱とします。ゆくゆくは、地場の食材を使った名物料理で、多くの人を呼ぶレストランに成長させたいと考えています。

○コモンダイニング……コモンダイニングとは大勢が一緒に食事をするところです。有機農場で収穫した農作物を調理し、分かち合いながら食事をする場所となります。宿泊者が一緒に食事をし、また、くりもと地球村への来訪者も交えた交歓の場となります。

○コーディネート……宿泊セミナーや農業研修プログラムのコーディネートを通じて、人のつながりづくりを行います。
また、ミレニアムシティ内、あるいは関連団体の人の交流を促進します。

○情報提供……くりもとミレニアムシティの事業内容や施設の概要をインターネットやマスコミなどを活用して広報します。